

会議録要旨

(令和5年度第1回 一宮市入札監視委員会定例会議)

[入札・契約手続の運用状況等の報告]

令和4年度下半期における発注工事について、事務局から入札方式別発注工事総括表等により報告があった。

[検討事案抽出の報告・確認]

抽出担当委員より、令和4年10月から令和5年3月までの発注工事の中から、建設部・まちづくり部・建築部、上下水道部及び環境部の事案について抽出した旨、報告された。

[抽出事案に関する説明及び検討]

○一宮市民病院電話交換機更新工事

・主な質疑

質問・意見	回答（要旨）
<p>・市と業者で直接工事費が500万円ほどの差があるが、機器購入費か、作業費か、どちらなのか。</p> <p>・入札額が一番高い者が落札できたのは、総合評価落札方式だったからなのか。</p>	<p>・作業費ではなく、機器購入費である。</p> <p>・総合評価落札方式は価格以外の技術等の要素も評価するので、技術力が伴っていれば、高い金額でも予定価格以内で落札することができる。</p>

○東出町地内ほか配水管改良工事

・主な質疑

質問・意見	回答（要旨）
<p>・配置できる技術者がいないという理由で辞退している業者がいるが、どのタイミングで辞退するのか。</p> <p>・一旦手を挙げておいて辞退しても、業者にとってデメリットはないのか。</p>	<p>・札を入れるタイミングなので、それまでに他の工事を落札すれば技術者がいなくなることもある。</p> <p>・ない。</p>

○西大海道戊亥地内ほか配水管改良工事

・主な質疑

質問・意見	回答（要旨）
<p>・総合評価落札方式の特例案件とはどういうものか。</p> <p>・総合評価落札方式の技術提案は、市が行った評価結果を誰が審査しているのか。</p>	<p>・総合評価落札方式の適用条件は3,500万円以上であるが、参加経験の少ない業者を育成するため、3,500万円未満の工事を特例として総合評価落札方式を適用させるものである。</p> <p>・評価結果は総合評価審査委員会に諮って、学識経験者である国と県の技術者の方に意見を聴いたうえで市が決定している。また、落札決定基準の決定についても同様に行っている。</p>

[検討結果のまとめ]

○検討結果

次の点について委員会より要望があった。

- ・入札制度を通じて建設業界を育成し、次世代の技術者が技術的にも成長できるような入札制度であり続けるよう引き続き適正な運営に努められたい。

以上